

おとりこし 報恩講つとまる



参詣者にふるまわれた三津田支坊のお齋。材料はご門徒のご報謝。



今年の蔵本通支坊おとりこし報恩講は雨でした。急ぎょ売店用のテントを移動させ、ビニールシートをはってお齋（精進うどん）の準備。みんなびしょ濡れ。



蔵本通支坊止門の溝掃除をして下さる小田原一、倅江ご夫妻。雨が降るとすぐ砂がたまって排水が悪いのだ。



陣中見舞いに飴を配って回る遊（ゆう・三男）。「早くちょうだい」と手を出しているのは誰でしょう？



高下田武夫さんは、今年も毎月、報恩講前には毎日、蔵本通支坊境内の剪定に通って下さいました。



外で煮炊きして台所で準備。



庫裏（くり・住居部分）玄関前だけでは足りないので、本堂の縁の下に店を出しました。文字通り縁の下の力持ち。「ちょっとこっちにも寄ってって！」



テントが使えないので、売店は庫裏（くり・住居部分）玄関へ移動しました。法中（参勤の僧侶）さんもただでは通しません。